

【 教 育 】

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会議等の運営及び開催状況等

教育委員会議については、平成 27 年度においては 11 回開催した。

(2) 教育委員会議の内容

会議は原則公開であり、人事に関する議案を審議する場合等では出席委員の過半数をもって秘密会とする場合があるが、平成 27 年度における傍聴者は皆無であった。

教育委員会議で審議された内容別の件数は次のとおりである。

【付議内容及び件数】

- 人事、服務に関する事 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 件
- 条例、規則の制定、改廃に関する事 ・・・・・・ 2 件
- 教育関係予算に関する事 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 件
- 各種委員の選任に関する事 ・・・・・・・・・・・・ 7 件
- その他報告・連絡事項について ・・・・・・・・・・・・ 48 件

(3) 教育委員会議以外の活動状況

教育委員会議以外の活動として、町理事者及び校長会や教頭会との意見交換会、学校現場の状況把握を目的として、学校訪問を実施しているほか、全道や管内の教育委員研修会や各種学校行事、教職員研修会等に参加をした。

① 学校訪問 ・・・1 回

学校現場の状況を把握するため、学校（小学校 4 校・中学校 2 校）を 2 日間で訪問し、授業や施設等の視察を行った。

授業参観 ・・・6 回

② 校長会懇談会 ・・・1 回

③ 教頭会懇談会 ・・・1 回

④ 総合教育会議 ・・・2 回

⑤ 各種教育委員研修会への参加 ・・・2 回

教育行政に関する内外の情報収集や諸問題の解決に寄与するための知識を修得するため、北海道市町村教育委員研修会（札幌市）や宗谷管内教育委員会連合会主催の研修会（枝幸町）に出席した。

⑦ 式典への出席・・・18回

教職員辞令交付式や成人式、また入学式、卒業式等の式典に出席した。

⑧ 各種学校行事への参加・・・17回

礼文学発表会や学校主催の運動会、学芸会等の各種行事に出席した。

⑨ 教職員研修会等への参加・・・7回

「保・小・中・高教育連携」に係る研修会及び各学校間、教職員間における協議、研修会に出席した。

- ・ 4/21 礼文町教育研究会総会
- ・ 4/21 全道へき地複式教育研究大会実行委員会
- ・ 5/13 香深地区小中連携教育研究会
- ・ 5/15 船泊地区小中連携教育研究会
- ・ 9/18 全道へき地複式教育研究大会
- ・ 1/29 香深地区小中連携教育研究会
- ・ 2/10 船泊地区小中連携教育研究会

(4) 教育交流会

礼文町の教育に責任を持つ9つの教育関係団体の代表が集まり、それぞれの立場において、その時々の教育課題について交流し、理解を得ながら礼文町の教育連携の推進を図ることを目的に、「教育交流会」を毎月開催し、意見交換をした。

(5) 教職員の勤勉手当給与決定区分判定会議

学校職員の勤務成績の判定は、市町村教育委員会が所管する学校に勤務する対象者について行うこととなっているため、支給期ごとに成績区分の判定を行い、宗谷教育局長に報告した。

2 学校教育

本町の教育は、学校・家庭・地域の強い連携と信頼関係のもとで、子どもたちの豊かな成長を願い、修学旅行での観光大使活動を中心とした「ふるさと礼文に学ぶ豊かな心の育成」を目指す「礼文学」や「基礎・基本の確実な定着」を目指す「礼文検定」の取り組みは、基礎学力の向上が図られるとともに、郷土愛を育むという成果を着実にあげている。

平成 27 年度は、家庭・学校・地域・行政等のより一層の連携・協力のもとに「学校力」や「教師力」を高め、さらには教育に携わる関係者が連携協力して知恵を出し合い「地域に根ざした教育」「地域の特性を生かした教育」の推進を図り、学校種を越えて連携協力し、学校間はもちろん、教職員相互の良好なつながりを深め、「保・小・中・高の教育連携を充実し、一人一人の個性を生かし、楽しく学べる学校づくり」を推進目標に定め、教育現場と認識を共有しながら、これまで築かれてきた特色ある「礼文の教育」の更なる進展を目指している。

(1) 小学校

各学校における予算配分基準に基づき、現状に即し適正、かつ効率的な予算執行のもとに、教育関連備品・教材の整備充実を図った。

[学級数・児童数]

〈各年度 5 月 1 日現在〉

	平成 26 年度	平成 27 年度	比 較
学 級 数	19 (3)	20 (5)	1 (2)
児 童 数	104 (3)	111 (5)	7 (2)

※ () 内は特別支援学級の内数

(2) 中学校

確かな学力を身に付けさせるため、毎日の学習や様々な活動に関わる教材・教具、及び、教育関連備品を充実するため、実状に即した予算配分・執行に努めた。

[学級数・生徒数]

〈各年度 5 月 1 日現在〉

	平成 26 年度	平成 27 年度	比 較
学 級 数	7 (1)	7 (1)	0 (0)
生 徒 数	55 (1)	58 (1)	3 (0)

※ () 内は特別支援学級の内数

(3) 学校施設整備

船泊教職員住宅外壁改修工事、礼文小学校防護柵改修工事、香深井小学校外灯取替工事、船泊中学校屋上防水工事、礼文小学校屋内運動場改築工事、香深井小学校体育館遠赤外線暖房機修繕、香深中学校 L P ガス供給機器取替、船泊教職員住宅車庫シャッター取替、各学校消防用設備修繕など維持補修に努め、児童生徒の教育環境及び教職員の居住環境の整備充実を努めた。

(4) 学校保健

児童生徒が充実した学校生活をおくることができるよう、内科・歯科などの定期健康診断や各種の予防接種・検査等を行うとともに、旭川医科大学眼科医師による眼科検診も実施し、子どもたちの健康管理に努めた。

(5) 学校給食

児童生徒の健康を考慮し、栄養面に配慮した学校給食の提供に心がけるのはもちろんのこと、子どもたちが望ましい食習慣や、食育を通して、食に関する自己管理能力を身に付け、自らの健康を保持増進していくことができるよう「給食指導」を行った。

また、安全な学校給食が提供できるよう老朽化した施設の修繕や船泊小学校給食室冷凍冷蔵庫取替や調理用着衣などの充実に努めた。

(6) 児童生徒への扶助

保護者が負担する学校関係諸費の軽減を図り、教育機会を均等に確保するために、要保護・準要保護の児童生徒援助や、遠距離通学費補助を実施し、割高な修学旅行費用に対し、高度へき地修学旅行費補助を行った。